

## 令和2年度 第2回青少年指導関係運営協議会 会議録

日 時 令和2年10月20日(火)  
午後3時から午後4時10分  
場 所 木更津市役所朝日庁舎会議室E

出席委員 井上美鈴委員、出口雅志委員、花園隆委員、薄葉良委員、  
田口謙作(阿部委員代理)、荒木弓夫委員、田所公司委員、清水寛委員、  
鈴木義信委員、齋藤和利委員、長谷川宏美委員、水島亨子委員、鈴木清委員

### 1 開会

### 2 まなび支援センター所長挨拶

### 3 協議

- ① 令和2年度まなび支援センター青少年指導関係活動中間報告
- ② 管内の青少年の現状について
- ③ 情報・意見交換
- ④ その他

#### 〔事務局から説明〕

それではただ今から、令和2年度第2回木更津市青少年指導関係運営協議会を開催いたします。会議開催にあたり委員14名のうち、出席者13名、欠席者1名、過半数の出席がございますので、会議が成立しております。なお、本協議会は、木更津市審議会等の会議の公開に関する条例により公開されておりますが、本日の傍聴人はございません。また、本協議会の会議録は木更津市のホームページ上で公開されます。会議中、録音機により会議を録音しておりますので、ご承知おきください。

それでは、協議に入ります前に、木更津市まなび支援センター所長の前田よりご挨拶申し上げます。

#### **前田所長あいさつ**

##### 〈事務局〉

ありがとうございました。

ここで、今回、第2回となりますが、初会合となりますので、恐れ入りますが、席順に従って自己紹介をお願いいたします。

#### **自己紹介**

ありがとうございました。

それでは、これから協議に入りますが、木更津市まなび支援センター管理規則第3条第5項の規定によりまして、齋藤会長に議長をお任せいたします。

齋藤会長どうぞよろしくお願いします。

#### 〈齋藤会長〉

それでは、協議に移りたいと思います。協議事項①といたしまして、令和2年度まなび支援センター青少年指導関係活動中間報告を事務局から説明願います。

#### 〈前田所長〉

令和2年度まなび支援センター青少年指導関係事業の中間報告

#### 〈齋藤会長〉

それでは、只今の中間報告に対しまして、それぞれ委員の皆様のお立場からのご意見がございましたらお願いいたします。

では、私から1つよろしいでしょうか。ネットパトロールを行う中で、気になる点、引かかるのはありますか。

#### 〈前田所長〉

現状でこちらが把握している問題点は千葉県の方で実施しているもので、報告はレベルが分かれています。危険度の低いものからレベル1、上がるとレベル2、レベル3となっています。こちらで把握しているものはレベル1の案件で、自分の名前を学校名と結び付けオープンにしているお子さんの報告を受けています。それに関しては、学校教育課を通して各学校に注意喚起を促しています。レベル2、レベル3については現在把握していません。

#### 〈齋藤会長〉

特別大きな事案に発展していないことだと思います。他にいかがでしょうか。

警察の方ではそんな活動はありませんか。

#### 〈田所委員〉

ネットパトロールをサイバーパトロールという名称で行っているのですが、目的としてはSNS等を活用して援助交際を行う青少年を発見し、現地で警察官もしくは少年補導員と接触させ補導活動を行うサイバー補導という役割や、ネット上で出会い系サイト等を使って実際に会い性被害に遭遇する青少年を防止するために、呼びかけを行う者に対して、補導や事件化を行うサイバーパトロールを行っています。

#### 〈齋藤会長〉

ご報告いただきましたが、気になる点等ございましたら、ご意見をいただければと。

いかがでしょうか。特別これ以上のものは無いと思われれます。センターについては、皆様のご意見をいただきながら実施していただければと思います。

続きまして、②管内青少年の現状についてお話いただければと思います。

## 〈出口委員〉

確実に市内全ての小中学校の状況を掴んでいるわけではないので、知りえる範囲で、特に自校のことについてお話しします。

スタートの時期の4月、5月の臨時休業は子ども達にいろいろな影響を及ぼしており、友達と会えない、ずっと家に籠っていなければならない等ありました。その間、電話連絡や家庭訪問を行い、学校と繋がりを取りながらやっていました。幸いにも大きな問題は起こらず、本校に限らず、木更津市内全体でも臨時休業中に問題は無かったと思います。

学校が始まり、以前と何が違うかという点、修学旅行が中止になり、ほとんど行事が何もできず、遅れてしまった授業を取り返すことに精一杯というのが学校の現状です。

本校の場合は、週に2時間、例年より多くの授業を行い、少しずつ授業が追い付いており、進度的にはほぼ多くの学校で最終的には困るということは無いです。ただ、授業が主になりすぎていて、子どもの心の成長であるとか、あるいは結びつきというのが本当に難しいと痛感しています。そして、本校では不登校だった子ども達が臨時休業明けに登校しだしてずっと来ているといったプラスに働いた稀有な例もあります。

多くの学校で休みぐせが良くなりかけた子が、休業期間で休みぐせがついてしまい、不登校ぎみの子が増加しているのではないかとされています。これから先に向け、体育祭は行うことができたのですが、やれることを見つけながら、子ども達の心のためにも、成長を図ってやりたいと思っています。

また、現在、生徒指導上の問題で困っているという中学校ですが、木更津市の場合には多く無いと思います。もしかしたら把握しきれていないだけかも知れません。卒業生との絡みで、問題があるというところもあまり無いのではないかと思います。本校でも卒業生が学校にきたりするかと思ったら全然来ないという話しをします。その辺り、皆さんをもちろん含め、木更津市全体の皆様が助けていただいているのではないかと考えております。

## 〈花園委員〉

木更津東高校の定時制の話をさせていただくと、コロナの関係で行事は全日制を含めてほとんど無しになりました。特に全日制の方は文化祭を華やかに行っていたため、それが全部無しになってというような形で大きな影響がありました。

定時制の方は、特に大きな問題が無いまま学校再開となりましたが、コロナの影響でアルバイトをしている子達が、仕事が無い、シフトが入らないという悩みがあり、経済的に苦しい子達も多くいますので、そこに影響がありました。家庭的に親御さんを含めて仕事が厳しく、学校を休むのではないかと感じの子もいましたが、9月、10月に入ってからだいぶ落ち着いてきました。

授業については、ずっと詰めて行ったら、行事が無くなりました。2学期に行事が無いという話しになり、急遽、一つくらいは息抜きをしないとイケないかと、やっとそれくらいの所まで、学校が回復してきているのだと感じています。今年一年はそういう意味では

もうしばらく回復にかかるのではないかと思います。

定時制は現在在籍が70名ちょっといるのですが、人数が少ないため、生徒一人一人に検温をしながら学校に入らせるという手立てを取れるため、その都度、生徒とコミュニケーションを取れるため、良い形で事実上、登校指導をしながらやっています。

#### 〈薄葉委員〉

紅陵高校ですが、6月1日から平常の形でスタートしました。それまで生徒は主に家庭学習で、2回くらい登校をしましたが、問題行動の連絡は無く、その反動か、本校に限ってなのかわかりませんが、6月以降例年に比べて件数が増えている状況です。少し落ち着きが出てきた感じを受けるのですが、やはり、コロナの影響か非常に落ち着きの無い行動が目立つというのが6月半ばから見えていた状況もあります。

学校行事の件も話に出ていますが、体育祭は縮小して行いますが、特に3年生が出る大会が中止になり、文化部についても発表の場が無くなってしまい、教員の方では特に3年生に対してフォローして行こうではないかと話しが出ています。

あと、一時期あったのがマスクに関しての苦情で、電車の中でのマスクを外してのおしゃべり等、意識の薄い部分がある生徒がいたため、かなり徹底して授業中や登校時にもマスクをするように注意を行いました。当然、外での注意を行っていますが、文科省から体育の授業ではずしても良いとの状況もありますが、今後も、そういう所は非常に指導していかなければならないのではないかと、そのような気がしています。

#### 〈齋藤会長〉

子ども達はいろいろな形で精神的に追い詰められているというか、普段とは違い、ストレスを発散できなくて困っている所があると思います。じっくりと向き合っていただければと思います。

#### 〈田口代理〉

コロナを含めた今年度の傾向として、すごく多いなと思ったことは、いつもは学校、警察、市役所、保護者とか割といろいろな所から子どもの相談や一時保護の必要なお子さんの通告を受けている中で、今年度特に最初のコロナの中で外での活動を自粛されている期間に関して、学校や警察からの連絡が極端に減って、代わりにお家からの連絡がすごく増えました。内容としては、「子どもを預かってほしい。」、子どもからは「家に居たくない。」というものです。学校や外出が自粛され、家の中で顔を合わせているのが嫌になり、喧嘩になるし、一緒に居てもお互いに嫌になってしまうということで、預かってくれという相談が、統計を取った訳ではありませんが、感覚的には2倍から2倍ちょっと位増えている感じがします。もう一方の点として、子ども達が集団で生活しているということで学校に近い形の一時保護所で、特に、学校関係で行事が無くなり、学校の中での日課が変わったことで、その影響がはっきりあるかどうかは断言できませんが、気になっているのは、ここ最近、中高生の一時保護が多いかなと。特に女の子が先週末から引き続き何名か連続的に入ってきますが、一時保護所の定員が15名のところだいたい25名から30名

くらいの子どもが生活をしていて、子ども達の発散場所と言うか、子ども達の関係が中で上手くいくようにと考えた時に、例えば、外部指導という月に1回の校外学習的なものを行っています。やはり、シェルターなので自由に外出できないこともあり、子どもが発散できるように職員が計画を立てて機会をもうけていましたが、今年に入ってからフォローできなくなっていて、ただでさえ人口過密な中でストレスが発散できず、中にいる子ども達に余計にストレスがかかってしまうのかと。非行とかのレベルではありませんが、生活場所の中でのいざこざやトラブルというものが間違いなく増えていると思っています。ここ最近のちょっとずつ自粛が緩んできた環境の中で、日常生活に少しは変化が出てきたのかという感じがしています。

この中間報告に書かれているような相談活動や指導活動を直接、児童相談所が取り扱うことは無いですが、どちらかと言うと、個々のケースだったり、お子さんの家庭を通じてサイバー警察と言うか、ネットで知り合って他県へ子どもが行ってしまったとか、把握するのが大変なものや、なんでそうなってしまったのかという、対応が難しかったりするため、今後も、今、どういう状況で子どものツールとして使用されているものなのかや経過など把握しておきたいと思っています。

#### 〈荒木委員〉

今、コロナで交流が無くなっていて、学校行事、世代交流とかの昔遊び、福祉体験学習等、行事が中止になっていて、児童との交流が無いです。

家が真舟小地区で、公園などでいかがわしい写真、雑誌の写真が100メートルくらいの間に1,000枚くらいバラまいてあり、小学生が通る道なので警察へ連絡しました。危ない人がいるのではないかと思います。あと、首の無い猫の死骸があり、それももちろん警察に届け、警察にパトロールを増やしてほしいとお願いしています。

また、公園が近くにありますが、休みが多かったせいで、ゴミを全部散らかして帰ってしまい、学校にお願いしたりしています。犯罪が起きないように、また、不審者のようなことがないように注意しています。

#### 〈齋藤会長〉

以前より、増えてきているということですか。

#### 〈荒木委員〉

増えています。時々起こります。写真の件は何回かあり、近くにいるのではないかと不審に思っています。

#### 〈齋藤会長〉

補導員等もパトロールしていますので、意識しながらやって行きたいと思います。

#### 〈田所委員〉

今年度の少年犯罪の発生現状といわゆる補導の現状等についてお話しします。まず、この話をする前提として今年度はコロナウイルスの影響があつてか、いわゆる相対的に犯罪というのは減少している状況にあります。詳しい数字は持ってきていないのですが、10月初め

の段階で前の年の同じ時期に比べると25%近く犯罪は減っています。特に非常事態宣言が出て、皆さん外出自粛中の時の傾向として、まず、侵入窃盗の空き巣が激減しました。これは皆さんが自宅にいらっしゃるから犯人も避けました。また、自転車窃盗もかなり激減しました。駅の駐輪場等で自転車に乗っていく人がいないため、盗む自転車が無いという特徴がある一方で、逆に増えたのがいわゆるインターネット犯罪です。

インターネット等で個人間の売買で買う契約をしたが商品が送られてこない、というトラブルから詐欺等、こういったものが増えたという特徴がありました。

相対的には25%犯罪は減った前提で、今年9月現在の少年非行の状況は、いわゆる犯罪等を犯して、警察の方で取り調べ又は逮捕をした少年の数は全部で29名となり、前年の同時期に比べると1名増えています。犯罪が相対的に減っている中で、非行少年の数は、ほぼ横ばい、微増というような傾向にあります。

犯罪の内容は、いわゆる非行系盗犯罪と言われる万引きとか自転車盗、けんかによる傷害、暴行事件というものもちろんありますが、罪名が凶悪のものも若干増えていて、例えば逮捕監禁、強制わいせつ、後は、盗んだもしくは他人のキャッシュカードを使ってインターネットで本人になりすまして買い物をしたという、罪名的にいうと電子計算機使用詐欺という詐欺罪の一種です。こういった罪の重い犯罪が昨年と比べて増えている現状にあります。

これは、非行の低年齢化というの也被言われていますが、犯罪の内容自体が悪質化しているという現状が出てきてしまっている。やはりひとえに、今、SNS等少年が非常に多くの情報を得られる環境下の中で、昔では考えられなかったインターネット上で他人になりすまして金銭をだまし取ったり、もしくは、他人のキャッシュカードを勝手に使用し、商品を好きなだけ買うというような犯罪が近年になって見え始めているという特徴があります。犯罪状況は以上です。

続いて、不良行為少年といういわゆる補導の事実ですが、9月末現在で157名、これは前年の同時期に比べるとマイナス13名と若干減っている現状です。

行為別で見ると、一番多いのが喫煙でこれが56ポイント。次いで深夜徘徊の35ポイント。次いで飲酒が24ポイント。以下は粗暴行為、暴走行為、怠学、学校のさぼり等々。立ち入り禁止場所に入る等の補導も多いのですが、喫煙、深夜徘徊、飲酒のこの3点でだいたい60%から70%を占めている状況です。

学生別で申し上げますと、一番多かったのが高校生の53名。前年に比べると5名減っていますが、今年が一番です。次が中学生の23名。前年に比べると14名減っています。小学生は7名。次に大学生の2名、専門学校1名となります。ただやはり、補導の大半が有職少年、無職少年が大半を占めているというような状況であります。

少年犯罪は年々減少傾向にはあります。数字の上では減ってきており、このまま月末まで推移しますと、最終的にはマイナスに転ずるのではなかろうかと。詐欺も落ち着いてきていますので、マイナスに転ずると思いますが、犯罪の中身が悪質化していることが懸念

しているところであります。以上が9月末時点での木更津警察署管内の非行少年の状況になります。

参考までに、先程から話にてしております、警察のコロナに関する防犯活動について簡単にご紹介します。

まず、4月から6月の休校期間中は、子どもさんたちが学校を休んでご自宅で待機されていて、大人は仕事に出かけていて、児童のみの留守番世帯が複数見受けられ、留守番をしている子ども達を狙った犯罪が懸念されたため、警察署と交通安全協会等にご協力いただき、パトカーを利用して児童に対する広報を実施しながら住宅街を中心に警戒活動を実施したところでした。他にも、各学校にご協力いただき、各家庭に配布されるプリントに警察で作成した広報素材をプリントしていただき、児童、保護者の目に止まりやすい啓発活動を実施しました。また、6月1日からの登校再開にあたって警察署では、生活安全部門、地域部門、また交通部門も連携し、各関係団体にもご協力いただいて登校時、下校時の見守り活動を推進しました。見守り活動中の児童による事件事故等はほとんど無い状況でございました。

#### 〈清水委員〉

裁判所では基本的に警察や検察の方から送っていただいた事案を扱ってしまっていて、事件の内容についてはお伝えできることは無いのですが、管内の少年の現状については田所さんの方から伝えていただいたとおりでと思っています。コロナ禍の影響かわかりませんが、やはり学校や仕事が休みになってしまったことで、その少年に時間ができ、それによって他の友達と遊んだり、そのような中で起こってしまった事件というのが増えているのかなという印象なのですが、そういったところがあると思います。

#### 〈鈴木義信委員〉

少年警察ボランティアということで、木更津警察署管内の袖ヶ浦、木更津地区を月2回、袖ヶ浦駅、木更津駅を中心に夜7時から8時まで1時間パトロールを実施しています。コロナ禍の影響で、4月から8月は外出自粛ということもあり、活動を自粛し、9月から活動を再開しました。限られた時間の中で活動していますが、パトロールをして下校途中の袖ヶ浦高校生など見かけたり、木更津管内においても遅い時間帯ですので、あまり歩いている方も少ないという状況の中、特に問題となるような案件はありませんでした。

あと、年に1回のタッチヤングという、ソフトバレーを木更津警察署管内の木更津、袖ヶ浦地区の中学校を会場に持ち回りで行っていますが、今年も清川中で計画しましたが、コロナ禍の影響で中止としました。

#### 〈長谷川委員〉

青少年相談員の方の活動は全部自粛で、何もありません。

毎年、中学生に川柳を小学生に青少年の主張ということで作文を書いてもらっています。小学生は学校にお任せしていますが、中学生についてはそれぞれの地区の相談員が集めますが、今年はテーマが無くて、個人の自由に書いてもらいましたが、やはり、コロナが

主な内容で、中には、親が毎日仕事で食事が麺になった子や毎日自分で買いに行く等、子ども達の生活が垣間見える内容でした。

9月にウォークラリーを行いました。当日小雨で参加人数も少ないかと思っておりましたが、今までイベントが無かったためか、小雨にも関わらず、昨年よりも1.2倍か1.3倍位の参加になり、対応が大変でした。

イベントを実施して、子ども達のストレスも溜まっているように感じました。

#### 〈水島委員〉

P T A連絡協議会自体がコロナの影響で会議ができていない状態です。そのため各学校の活動がどのようになっているか把握できていないのですが、私自身が所属している清見台小学校と太田中学校の先生に子ども達の様子を聞いてきました。

清見台小学校に関しては、夏休みを縮小したため、2学期までの授業日数がほぼ回復しているということでした。コロナの影響で子ども達も沈んでいるのではないかと思いきや、思ったよりも子ども達は元気で楽しそうに笑顔の絶えない学校で安心していると校長先生から聞いています。

中学校に関しては、小学校同様、行事はすべて中止され、運動会も体育祭も予定どおりできないもしくは縮小で開催されることになりましたが、100%の力が出せず、その中で思いっきり思い出を作ろうと頑張っている姿がすごく誇らしいと小学校の先生も中学校の先生も言っていました。

ただ、中学校に関しては、3年生は受験生ですが、各高校の文化祭が中止になり、それに伴って学校見学もできずに志望校を決めなければならないという3年生にとって過酷な年になっています。私立と公立の違いも未だわからないという子ども達がいる中で、少しでも学校の状況を知りたいのに知ることができないというのは少し可哀想かなと思っています。

行事が全部つぶれているため卒業アルバムにのせる写真が無いということで、P T Aとして何か思い出に残ることができないかと検討はしていますが、なかなか学校側と調整も合わずやりたいこともやらせていただけない状況です。コロナが落ち着いてきて校外学習に行き始めているので何か思い出に残るものを一つでも各学校で考えてやってあげましょうとP T A総会の中で出ていますが、会議ができていないので話が止まっている状態です。ただ、子ども達に何かやってあげようという事は考えておりますので、この中で、小中学校のお子さんをお持ちの方がいらっしゃいましたらご協力いただけると助かります。

#### 〈鈴木清委員〉

コロナの影響を子ども会はもろに受けていると思います。子ども会の方は軒並み行事が中止になって、その中で市の子ども会の役員の方で、9月10日付けでガイドラインに沿った対応でイベントの第一弾として祇園小学区でウォークラリーを行いました。飲食はN Gにしまして、大人を含めた220人が参加しました。

また、あと縄跳び大会を何らかの形で行いたいと思います。

このままで行くと、市の安全会に登録するイコール県に行き、全子連に行きますが。その人数が例年の半分くらいで、登録しても活動できないという声が多くなっています。来年になれば、去年もそうであったので誰でも連れて行くよと言うと、どんどん消滅の一途をたどるような形で、本当に何か考えなければならない。本来の子ども会の在り方を、もう一度子ども会を見つめ直して、地区からの活動をするのも意味があるのかと思っています。

### 〈齋藤会長〉

先程、まなび支援センターの所長の方から報告がございましたとおりです。

補導員の方は、鎌足地区は特に。先日もパトロールしておりましたら目の前をイノシシが通るという状況で、子どもはいなくてイノシシはいるという状況です。なかなかもって子ども達は外に出ていないです。たまたま見るのは木更津総合高校の野球部の子達が、矢那というか鎌足に練習場がありますので、その練習の帰りに自転車で整列しながら帰っているというところで、たまに声をかけて気を付けて帰れよと言うくらいの補導活動、声かけということしか行っておりません。

皆さんのいろいろな意見を聞いている中で、確かにコロナの中で、なかなか活動ができないと、我々補導員もそうですし、各団体もみな同じ感じで、来年は元のとおりある程度、少しでも戻ってくるのかなというところで願っております。

### 〈井上副会長〉

本校の大学の話をさせていただきます。

私が勤めているところは短大ですので、一般的な四大生とは少し違いますが、前期がゴールデンウィーク明けまで完全な休校でそれ以降はオンラインに切り替わり、全ての講義がオンラインになりました。私たち教員も初めての試みだったため、当初は試行錯誤で様子を見ながらでしたが、学生の側から見た時、特に、1年生が今までは高校生でいて、何もわからないまま、履修登録をさせられ、そしていきなりオンライン授業ということで、非常に戸惑いがあったと聞いています。オンラインはとても良い面もあります。良い面としてコミュニケーションの苦手な学生にとっては自分のペースで人の事を気にしないのできるので良かったという学生がいた一方、やはりオンラインは厳しい、仲間と相談しながらやることができない。オンラインの画面上の中で、自分ですべて見て行かなければならない。例えば、月曜日の一限はここに行く、二限はここで受ける等ということがすべて取り払われ、自分の好きな時にアクセスしてやるというのが厳しいという学生もおりました。また、突然始まったことなので、そもそもこれは経済的な格差がかなり大きいのですが、PCを持っているのか、それとも画面の小さいスマホの画面でやるのかで、学習環境が違い、アンケートを取りましたが、PCを持っている学生は短大に来るということ自体が少なく、それほど経済的に豊かでは無いということの指標で、四大に行けないということですから。あえて短大を選ぶ学生もいますが、PCを持っていない、Wi-Fiも自由に使えないという学生も一定数いました。なので、どこに教育の照準を合わせていくか、そう

いう環境の整っていない学生に焦点を合わせていくかというところで、なかなか苦しい思いを大学もしましたし、教官も学生も大変であったというのが前期の状況です。

前期に関しては都内の事しかわからないのですが、都内の大学も全部休校で同じ状況でした。小、中、高校は6月から対面授業が始まりましたが、大学はオンラインで、後期が9月、10月から始まり部分的にオンライン、一方で対面授業と入り乱れている感じで、それについてこられるのか、自分でよくスケジュールを管理しなければならないというところで、学ぶという土台の部分が非常に揺るがされているような状況が今も部分的に続いているという印象です。

短大生はアルバイトを多くしていました。保育者を養成する大学なのでなるべくなら外に出るのは控えて、いつでも実習に行けるよう2週間は最低自宅待機し、実習に臨んでもらいたいのですが、8月に実習が入ってきましたが、アルバイトをする人が少ないため、学生が毎日アルバイトをしている様子で、大学生はアルバイトが比較的多かったです。教員としては、アルバイトをなるべく控えなさいと言えない。経済的に厳しい学生が多く、アルバイト代から学費を支払っている学生もいるので、経済面と学習面とかなり現在も影響を受けている状況です。

これは私の短大のことだけでは無いのですけれども、自宅にずっといて妊娠してしまう学生もいるという話もあります。この地域の話だけでは無いのですが、なかなか、どのように生活していくのかということも難しいと感じました。

#### 〈齋藤会長〉

貴重なご意見、お話をありがとうございました。

各委員のお話について質問がありましたら、各委員お願いいたします。いかがでしょうか。

子ども会の鈴木さん、子ども会の方は行事が無くなったと、我々も無いのですけれども、全部無くなってしまった訳ではないですね。

#### 〈鈴木清委員〉

縄跳びは1月になったら何かの形で、例えば大縄跳びは止めて、短縄にして、食事なしで午前中に終わるようにしようかと考えています。まだ、これからも考えていく余地はありますが、3月に海苔すきもあります。今まで田植えや稲刈りをし、そのお米でおにぎりを作ろうというものだったのですが。

#### 〈齋藤会長〉

どなたか質問等ありますか。他になれば、情報交換ということですが、何かありましたらこの場で情報提供いただければと思います。

いかがでしょうか。

実は、鎌足地区の方で、暴走族ではありませんが、暴走族的な1台か2台のバイクがずっと走って行くパターンが昨年あたりから聞いています。警察の方はそのへんどのような形で情報等々、特にありませんか。

### 〈田所委員〉

暴走族というところの情報は特にありません。やはり大きな音を出してバイクが走れば、その都度その都度通報が入って対処しているところですね。

### 〈齋藤会長〉

補導員の中でも、たまに出てきているということで、お互いに情報収集というか協議しているところですが。

### 〈田所委員〉

反復走行ですか、行ったり来たりして、もうやかましいのであれば、これはもうすぐ通報していただければ対応します。

### 〈齋藤会長〉

あと、他にになにかこの場で各委員さん、いろいろな立場の方がいらっしゃいますので、PTAさんだとか相談員さんだとか聞いておきたいことがありましたらいかがでしょうか。

### 〈水島委員〉

まなび支援センターさんというのは、相談窓口として常にどなたか待機していますでしょうか。次のページを先に言ってしまいましたが、相談がいろいろのっているのですが、お母さんからの相談が多いのかなと見ていたのですけれども、本人からの相談で来所が3件、メールが10件とあるのですが、これは本人がSOSを出している状況です訳でしょうか。

### 〈前田所長〉

お話できるものとできないものがあります。お話できるところでは、本人が定期的にメールで悩んでいることや対応したけれども上手くいかなかったこと等、メールで相談が来て、それに対して相談員がメールを返すというやり方で対応させていただいております。

実際に本人がこちらに相談に来るケースは、本人単独ではなく、まず、親御さんから電話をいただいて本人と一緒に来るというようなケースが多いかと思えます。

相談業務の中で心配していることが、今年度スタートのところで、6月スタートという学校がほぼ高校も含めてでした。ちょっと多いと思っているのですが、高校一年生のスタートで躓いてしまったという相談があるのです。同時に匿名で電話やメールが来ることもあります。小学校一年生の親御さんから学校に行きたくないと言っているという相談件数が多かったかなと。これは推測になりますが、初めてのお子さんが小学校一年生になり、4月から学校が始まらず6月から始まったとなれば、お母さんとしては不安になるのかなと想像しています。ただ、ここに来て、そういう相談が減ってきているので、小中学校に関してはリズムに乗り始めているというのが実感です。

先の話ですが、高校生が学校に行けていないと学校を辞めなきゃいけない。そうするとその子達の親御さんやその子達がどこに助けを求めるのか。小中と高校は全く違うのでそういう方たちの受け皿というものがすごく心配だなと実感があります。当センターは二十歳まで相談を対応させていただくことになっていますが、圧倒的に小、中、幼、保の親御

さん、本人などの相談が多いです。高校生が上手く行くと良いなと思いますが、そういう子ども達が、もし、学校という場所と途切れてしまった時に、どこでバックアップできるのかというのはすごい課題だと思い、日々業務に当たっています。

**〈水島委員〉**

これは二十歳までということですが、お父さん、お母さんからの相談も受けてくれるということですね。

**〈前田所長〉**

その対象者が二十歳までであれば。

**〈水島委員〉**

例えば、子どもが不安定な状態になって、心配で相談の電話をかけた場合、そういった時に対応はしていただけますか。

**〈前田所長〉**

はい、相談にのらせていただいています。

まなびの相談業務を紹介する訳では無いのですが、お子さんの状態により、臨床心理士の先生や精神科のドクターであるとか、そういった専門家の教育相談という時間を取っていますので、お母さんにこういった制度を利用され相談されたらどうかとお勧めをしたり、悩みを抱えたお子さんをカウンセラーであるとか、ドクターに相談したらどうかと繋げていくこともさせていただいています。

**〈水島委員〉**

こういった施設をどんどん紹介して良いということですね。

**〈前田所長〉**

はい。

当然、他の機関の紹介という段階では親御さんがどこの誰であるとかというところまで、お話しできたところで勧めていくというケースが取れます。

**〈水島委員〉**

警察の方も言っていますが、補導される子ども達は高校生、中学生が多いではないですか。私はPTAから出ていますが、保護司という仕事をしている中で、万引きをしてしまったとか誰かに暴力をふるってしまったとか、心の内というのはやはり、親からの愛情をめぐらさず受け取ってなかったとか、本当はもっと愛してほしいのに愛してもらえていないという言葉がすごく多いのです。そういった子ども達の相談場所が無いというのも、一つの原因なのかなと思っていて、そのような子達にも「ここに相談してみたら」という場所が少しでもあれば、非行ケースも減っていくのではないかと思いますので、活用させていただきたいと思います。

**〈前田所長〉**

ぜひ、もしそういったお子さんがいましたら。本人が電話してくることはハードルが高いようなのですが。

### 〈水島委員〉

高いですね。もっと一杯いると思っていましたが、あまりにも数が少ないです。

### 〈前田所長〉

電話がハードルが高いようであれば、メール相談も受けています。メールを打ってもらって翌日に返信。土日が休みで間が空いてしまいますが、メールをしていただければありがたいと。まなび支援センターのホームページの一番上の方に、メール相談が出ていますので、ぜひそういった形で勧めていただければと思っています。

### 〈齋藤会長〉

他にはご意見ありませんか。特に無いようであれば、皆さんにご意見をいただいて、私も補導員の方も、これからの活動に生かしていければなあと思っています。

ご意見も尽きましたようなので、また、時間の制限もございます。これをもって協議を終了したいと思います。

進行を事務局にお返しします。

### 〈事務局〉

貴重なご意見等ありがとうございました。

委員の皆様方のご意見等を参考にしながら、まなび支援センターの事業を進めてまいりたいと思います。

次回、第3回の運営協議会は令和3年1月26日（火曜日）15時から、  
会場は 同じく こちら木更津市役所朝日庁舎会議室Eを予定しております。  
どうぞ、よろしくお願いいたします。

それでは、これをもちまして、本日の会を閉会いたします。

ご協力ありがとうございました。